

平成 26 年度
第 5 期中原区区民会議 第 3 回運営部会

日時 平成27年 2月19日 (木) 10 : 00～
場所 中原区役所 5階 505会議室

第5期中原区区民会議 第3回運営部会摘録

- 1 開催日時：平成27年2月19日（木）午前10:00～
- 2 場所：中原区役所5階505会議室
- 3 出席者：板倉部会長、橋本副部会長、反町委員、中森委員、成田委員、仁上委員、萩原委員【委員7名】
（事務局）小野副区長、今井企画課長、江口係長、倉見係長、西山職員【企画課】
岩下さん【コンサルタント（㈱カイト）1名】

4 議題等

・会議録確認委員の選任

・議題

- (1) 第5期区民会議審議テーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」について
- (2) 第4回中原区区民会議について
- (3) 第5期中原区区民会議中間報告書構成案について

5 傍聴者 なし

6 会議内容

・会議録確認委員の選任

会議録確認委員の選任について、前回に引き続き、名簿順で成田委員を選任。

・落書き消し活動について

2月12日に実施した落書き消しは多くの有志委員に御参加いただき、効果的に行うことができた。

当日イツコム取材が入り、番組「なかはらスマイル」で3月1日（日）放送予定。その後も再放送が何回か予定されている。

・第5期区民会議の審議テーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」について （進行：岩下氏（コンサルタント（㈱カイト））

まず、資料1「課題調査部会における意見整理」及び参考資料に基づき、課題調査部会の成田部会長から、2月2日に開催された第3回会議における審議の結果、主な意見等について報告。

続いて、資料1と合わせて資料2「取組提案について（資料1抜粋）」に基づき、事務局（コンサルタント）から、課題調査部会の審議結果を基にまとめた取組提案の案について説明。

資料内容に加えて、環境局中原生活環境事業所による出前講座の内容となっている「ごみ分別ゲーム」は、主に区内小学校4年生を対象とした授業の一貫として実施されており、平成26年度も区内公立小学校18校全校で実施され、終了している。

【意見交換】

反町委員 いずれの提案も素晴らしいと思う。フロンターレのキャラクターを使った人形劇は、現在実演されている生活習慣「歯磨き」のものを、何回か見る機会があった

が、とてもクオリティが高い。見ていて非常に楽しく、子どもも入っていきやすい。これまで公立保育園での上演が中心だったものを今後は拡大していこうという方向性も良いと思います。

最近、私はグランツリーの屋上庭園（ぐらんぐりんガーデン）に行く機会が多く、そこでよく、平日など本当にたくさんの親子が楽しんでいるを見かける。寒い日でも多くの子もたちが遊んでいて、暖かくなってきたらもっとすごいのではないかなと思う。また、屋根はないがイベントスペースがあり、人形劇の会場にすごく良いのではないかなと思う。具体的な手続等を詳しくは知らないのですが、簡単に使えないのかもしれないが、子どもたちに向けて発信するには非常に良い場所ではないか。

その他の提案も良く、私自身や私の活動母体であるNPO法人でも積極的に関わっていきなと思う。実行部隊として頑張っていきたい。

板倉部会長 全体会議でここを話し合っしてほしいというような事柄はあるか。

反町委員 内容が本当に多岐に渡っているが、仕分けの達人ゲームと人形劇は共通点が多いと思う。全体会議ではあまり審議の時間もないので論点を絞る必要がある。

板倉部会長 皆さんの努力でここまで、絞り込み、まとめられてきた経緯がある。

事務局（コンサルタント） 資料2では各提案について、「取組の推進・今後の課題」という欄を設けている。この内容について、または全体の推進のしくみやキャンペーン活動の内容や展開法などについて、全体会議で意見をいただきたいと思う。

反町委員 仕分けの達人ゲームについて、現在、生活環境事業所を中心に行われているものがどのようなものなのか、一度見学したい。新しいゲームをつくるにあたっては、どのくらいのクオリティでやるのか。手作りでやるようなイメージか。クオリティの高さを求めるのであれば、業者をお願いするようなこともありそうである。基本はできるだけお金をかけないということかと思われるが。

事務局 生活環境事業所ごとに展開されており、内容については事業所ごとに工夫ややり方があるようである。中原区版として、子どもたちがより楽しめる内容を考えていただければと思う。

反町委員 中原区ならではのアレンジを加えことができる、これは非常に重要な点。ただ、皆さんに意見をいただく上では何かたたきとなる案があった方が良い。

事務局 資料2でいくつか写真等を示させていただいたが、これだけではイメージしづらいようだったら、本会議でスライド等を見せていくこともできるかと思う。ただ、事業所の方に本会議に来ていただいて説明をいただくようなことは、第4回会議の時間的制約もあるため、厳しいと思われる。

仁上委員 私の所属する団体では、老人いこいの家を使ったふれあい会食会など、みんなが集まる場がある。また、区内では子育てサロンなどもあちこちの会場で開催されている。それらの場所で少し時間を割いてもらい、例えば20分程度で、保健師や消防署署員が講師として来てもらって、健康講座やAEDの使い方などのミニ講座を実施してもらっているので、こうした場で、アレンジした分別ゲームを小学校とは別バージョンで実施する。あるいは各団体のリーダーの方々に説明して広めていただく。そうした形になると良いと思う。

先日の落書き消しに私も参加させていただいた。通りすがりで感じていたよりも

ずいぶん落書きが多いことを実感した。そしてそれらを消している団体がいることに本当に感心した。タウンニュースにも記事が掲載されて、それでも見ていない人はいるかと思うが、より多くの場で取り上げられることによって、ごみの分別の重要さがより多くの区民の目に触れ、広がっていくと思う。

1年ほど前に普通ごみが週に2回の回収に減り、当初は苦情や集積所の乱れも多かったが、最近は定着してきてきれいになってきている。地域の自浄作用が働いているのだと思う。そこにさらに後押しするのが区民会議の役割と考えてもよいのではないか。大々的に打ち上げて劇的な効果を上げることを期待するのではなく、ちょっとメディアに取り上げられたり、看板が新しくなったり、区の花が増えたり、自然に区民の目に触れる場を少しずつ増やしていくことが成果につながっていく。広く浅くでも良いので、みんなでまちをきれいにする流れができればと思う。

「仕分けの達人ゲーム」は区民祭など既存のイベントにうまく便乗して展開することも良いし、町内会の盆踊りの機会なども良いかと思う。

萩原委員 どの提案も実現できそうな印象を受けている。「区の木・区の花を活用した「きれいなまちづくり」の担い手育成」の提案について資料1・2を見ると、まちの美化に取り組んでいる団体のネットワークづくりなどが少し弱く感じる。アンケート調査の集大成として、区民会議からイベント等での全体的なアピールができると思う。

板倉部会長 アンケートの結果を受けてということか。

萩原委員 アンケートの結果で見出された多様な団体や取組などをつなげていきたいという思いがあるのだが、資料2を見ると緑や花関係の団体だけにとられてしまわないか少し心配だ。例えば一生懸命アンケートに回答いただいた企業などもうまく取り込んでいきたい。資料2に記された4つの提案だけだとすると余計に心配。

仁上委員 アンケートも一つの実施事項。アンケート調査が意識啓発にもつながるのではないかと思う。「ここが汚かったな」「ここをきれいにしよう」という流れが生まれることを期待する。

萩原委員 アンケート調査でハッと気づかされることもありそう。

事務局(コンサルタント) アンケート調査をどのように活かしていくかという点、緑化以外に関する活動団体をどのように絡めていくかという点については、少し不足しているか。

仁上委員 町内会には老人会、婦人会、子ども会などそれぞれの組織がある。その責任者にアンケート調査票を回しても面白いと思う。

中森委員 アンケート調査はできるだけ多くの対象に同時にできたらと思う。「仕分けの達人ゲーム」の認定や表彰に、区の木や区の花をあげてはどうか。より多くの区民に知らせることになると思う。

事務局 「なかはら子ども未来フェスタ」などのイベントで、「仕分けの達人ゲーム」の提案を展開した場合、事務局でも、ただやるだけではなく参加賞など出せると良いだろうという提案はあった。例えば、区の木のものロゴを活用したバッジやファイルなどはどうか。区の木のもの周知にもつながると思われる。

中森委員 川崎フロンターレ選手が起用されているクリアフォルダなども見かけたことがあった。こうしたものがあると周知やアピールにつながると思う。良いアイデアだ

と思う。人形劇は外国人の子どもや親たちにも見てもらえると良いと思う。国際交流センターなども会場にして、子ども向けだけでなく、幅広い対象を意識したシナリオもできると良いと思う。国際交流センターでは年1回、インターナショナルフェスティバルというイベントが20年以上行われてきており、日本人、外国籍の方を含め、たくさんの方が集まる。

事務局(コンサルタント) 開催時期はいつか。

中森委員 7月の第1日曜日だったと思う。会場はそれほど広くないが、本当に色々な団体が参加されていて、賑わう。川崎フロンターレさんも参加されている。ここで人形劇ができると大きな効果がありそうだと思う。

仁上委員 一人一人が意識することによってまちがきれいになる。しかし、意識していない人がまだ大多数である。そうした人たちに、何かのタイミングで意識づけを働きかけることが必要。地域の情報紙に少しでも載れば、見る人は必ずいる。先日の落書き消し活動も、消したことだけが活動の効果なのではない。われわれが作業している際に傍らを通行する人たちが相当いたが、その人達に「女性やお年寄りも参加して、一生懸命、落書き消しをしてくれているな」と見せることが重要。何かの際に思い出したり、「ちょっときれいになったな」と気が付いたりするはずである。地道だが、そうした方向性で良いと思う。

成田委員 落書き消しの後に、知り合いから「あなた、消していたでしょ」と言われた。その後も何人かに「落書き消し等の活動にはどこにいったら参加できるのか」「参加したいのだけれど、親子連れはだめか」など聞かれた。新しい高層マンションの住民の方などから声をかけていただいた。そうした声を拾い上げる場があれば、広がっていくということを実感したところである。アンケート調査の結果から、区内のどこの地域で良い活動がされているのか、どこが課題なのか、そうしたことを広く知らせていくことが重要である。それを踏まえて、仕分けの達人ゲームなど、一度作ってしまえば繰り返し活用できる取組も進めていく。そのツールについては、外国語や点字などの表記も加えていくなど、できるだけ費用をかけない中で、より多くの方に日常の中で取り組んでいただけるような工夫をしたい。外国人の支援をされている方、PTA等学校や教育機関で活動されている方、障がい者の視点から活動されている方などにも広めていけるように、展開したい。仁上委員のおっしゃるように、会食会や子育てサロンの場で展開していただくのも貴重な機会だと思う。

仁上委員 ペットボトルの回収日に洗剤のボトルが出されてしまっている。それを何曜日に出せばいいのか、分別で分かりにくいところを、独り暮らしの高齢者に教えてあげるなどしていく。

中森委員 それをゲームで伝えられると良い。例えば汚れたままで出していいのかどうか、そういった視点も必要かもしれない。

仁上委員 誰でもわかりやすい仕組みにすれば、誰でも講師になることができる。

事務局 気持ちのある方、機会があれば参加したいという方はまだまだいるのだと思う。それを拾いあげていけるような取組。まちづくり推進委員会などの団体を育成したり、他の団体をつなげるような取組があっても良いと考えている。区の木・花を活用した「きれいなまちづくり」の担い手育成の取組については、そのあたりがもう少し充実

できると良いと思う。

梶本委員 既存の活動でも環境分野に関わっているような団体が広い範囲で存在している。そうした団体も今回のアンケート調査の対象として含めていき、希望や意向を聞く。受け入れや連携の余地があるのかどうか。私も健康の森などの活動に参加しているが、立上げ時のメンバーのまままで長年やってきていて、新規参入というのがなかなかできにくい実情がある。段々、年齢も重ね、メンバーが減ってきている。それぞれの団体にもメリットがある形を、アンケート調査結果をうまく活用しながら、連携が図っていけると良いと思う。

萩原委員 「きれいなまちづくりを担う、地域コミュニティの醸成」というような表現にしていだければと思う。

反町委員 団体連携の推進は区民会議の役割の一つだと思う。美化活動に取り組んでいる活動団体がたくさんある中で、あえて区民会議でテーマとして取り組むわけだから、活動が少し加速したくらいではだめで、区民会議が入ったからこそその成果が求められると思う。団体間をいかにつなげていくかが重要である。アンケートの結果も受けてとは思っているのだが、美化活動に取り組まれている団体の情報が一つにまとまった情報発信は何かあるのか。

萩原委員 そういうものが無いからつくりたいという話が課題調査部会で出ている。

板垣部会長 まちづくり推進委員会では活動団体に登録いただいているが、その数は約 200 団体で、内、実際に活動しているのは 100 団体弱であって、冊子にもなっている。

反町委員 活動を分かりやすい形で、区民会議として周知していく。団体同士ももしかしたら、お互いのことが分かっている面があると思う。

板垣部会長 区の施設の印刷機や会議室が使えるということで、集まっている団体なので、活動実態があまりない団体もある。

萩原委員 区民会議の存在感というか、アピールができると良いと思う。

中森委員 2月5、6日にとどろきアリーナで開催された川崎国際環境技術展 2015 を見学に行ったところ、コアレックスという企業が、私たちが出したごみがどうリサイクルされているかの展示やパンフレットの配布をされていて、非常に分かりやすいと感じた。こうした資料を区民に伝えていくことも必要だと感じた。施設見学なども良いと思う。仕組みがわかれば、区民の意識も高まるのではないかな。

板垣部会長 処理施設なども見学ができるが、土日の受け入れをしていないということが一つネックになっている。

事務局 毎年5月に等々力緑地で開催されているエコ暮らしフェアには、中原区もブースを出展している。学校やNPO団体で環境に関連する取組を行っている団体にも参加いただいている。また、環境技術展にも毎年訪問しており、エコ暮らしフェアに出展いただける企業の開拓を行っている。現在、ごみの減量につながる掃除の仕方を提案する区内の企業との連携も検討しているところである。環境向上に寄与する企業が区内にあれば、積極的に発掘し、連携していきたいと考えている。

板倉部会長 コアレックスの施設はバインダーなど金具がついたまま排出しても、最新の機械で分別してリサイクルしてしまう。それを見学すると、「なぜ分別しなければならないのか」という点では逆効果になってしまうことも考えられなくもない。ペットボ

トルもラベルを剥がして分別することが奨励されているが、JFEスチールプラスチックリサイクルの施設では、一緒に出されても粉々に砕いて、それを自動分別する設備があって、施設見学も善し悪しである。

萩原委員 川崎市は以前、東京都や横浜市に比べると分別の基準が緩かったということがあったわけだが、技術が優秀だから、それでもリサイクルできてしまう。

事務局 区民会議委員である松澤委員は、川崎地区連合の中原区代表として参加されている。区内にはNECや富士通などの様々な企業があり、活動されている。松澤委員を通してフィードバックしていただくようなこともできると考えられる。

事務局 区の環境事業の一環で、子ども環境事業を実施している。区内3地区で、NECや富士通の見学、NPO「矢上川で遊ぶ会」による区内学校での出張授業を展開している。何年も続いている事業で、現在これを5地区に広げられないかと考えている。小杉地区に信号器材株式会社という、道路の舗装や交通標識などを作っている会社があるが、ホタテガイの貝殻を舗装材に利用しているということで、そこにも出張授業をしていただけないか、現在交渉しているところである。協力してくれる企業があれば、どんどん拡大していきたいと考えている。

萩原委員 中原工場協会の中にもさまざまな取組をしている企業がたくさんあり、そういった企業と繋がると良いと思う。貝殻を活用した舗装材は温度が高くなりにくいと聞いたことがある。環境に配慮した取組はたくさんあり、そうした話を聞くのは非常に楽しい。

成田委員 小学校の環境教育に取り入れていくのが非常に効果的だと思う。区の将来を担う世代である。落書き消しについても、実行部隊として参加してもらえそうな形がとれると、若い内から地域に参加するようになると思う。

萩原委員 人形劇の取組では、分別されたごみがどうなるのか、そのあたりまでぜひ盛り込んでいただければと思う。また、人形劇の様子も動画でYouTubeや区のサイトなどで公開できれば、より多くの人々の目に触れることにつながりそうである。

中森委員 竹を材料に、食べ物を腐らせずに長持ちさせるシートを開発した企業もある。区内にある企業をもっとアピールして皆さんに知ってもらえると良いと思う。シートだけでなくお弁当箱などもあり、0-157の予防などにもつながるようである。あまり知られていない企業だが、何かの形で連携できると良いと思う。

反町委員 動画公開のアイデアは良いと思う。人形劇だけでなく、仕分けの達人ゲームも動画にできると良さそうである。理想を言えば、スマートホンやタブレットのアプリとして遊べ、学べるツールができると良いと思う。

人形劇については、上演できる回数はどうしてもある程度限られてしまう。区のHP等でも動画を公開し、区内の子育てのイベントなどで、「このサイトで見られますよ」と宣伝できると良いと思う。分別ゲームも本来は直接体験できるのが理想だが、子育てふれあいカフェに参加されているお姉さんが子どもに話しかけるような形で動画を作成するのも良いと思う。また、その他の一連の企画も、例えばイツコムさんに追いかけていただいて、各回は短くても良いので、紹介していただければ理想である。区民有志で小さな番組をつくるような取組も良いと思う。

事務局 落書き消しの際にはイツコムさんに取材に来ていただいた。今後の取組につ

いても取材に来ていただけるように、投げかけていきたいと思う。

萩原委員 動画が公開されているサイトのQRコードを区で作成する様々な広報物に掲載すれば、興味をもってアクセスする人もいると思う。

板垣部会長 それでは、これまでいただいた意見を取り入れ、全体会議に提出する資料をまとめていくが、作業については事務局と私に一任という形でよろしいか。

(一同承認)

・第4回中原区区民会議について

事務局から資料3「第4回中原区区民会議次第(案)」を説明し、内容を確認。続けて、資料4「第5期区民会議審議テーマについて」を、第5期の二つ目の審議テーマの検討方法について説明した。

・第5期中原区区民会議中間報告書構成案について

事務局から資料5「第5期中原区区民会議報告書構成(案)」を説明。

【意見交換】

萩原委員 報告書は区長に提出するだけなのか。一般の人の目には触れるものなのか。

事務局 基本的には区長に提出するためのものであるが、冊子として作成し、区内公共施設等でも閲覧できるようにしている。また、概要版も作成し、町内会回覧等により多くの区民の目に触れる形をとっている。

萩原委員 だったら、やはり今回の構成案のように、取組提案の結論部分を最初に持ってくるべきではないか。

仁上委員 先日、他区の報告書を見る機会があったのですが、中原区はフルカラーで非常に立派。他区では白黒の事例もあった。

事務局 できるだけ見やすい形を事務局としても検討しているところである。

7 その他

・今後の日程調整について

第4回運営部会は、来年度5月下旬から6月上旬頃までの開催を検討しているが、日程調整は改めて個別連絡で行うことを確認。

8 閉会

以上により、すべての議題等を終了

以上